

日本認知科学会第29回大会のご案内（第1号通信）

日程：2012年12月13日（木）～15日（土）

場所：仙台国際センター

（宮城県仙台市青葉区青葉山無番地）

大会 web ページ

<http://www.jcss.gr.jp/meetings/JCSS2012/>

大会委員長 行場次朗（東北大学）

実行委員長 小泉政利（東北大学）

プログラム委員長 永井聖剛（産業技術総合研究所）

プログラム副委員長 田中章浩（東京女子大学）

1. 大会委員長挨拶

日本認知科学会第29回大会を2012年12月13日から15日の会期で、東北大学がお引き受けすることになりました。昨年の震災からの復興途中で、しかも東北で初めての認知科学会を開催することになり、スタッフ一同、様々な意味で、深い思いを感じております。

本年4月には東北大学に災害科学国際研究所が設立されました。種々の分野の英知を結集して巨大災害への新たな備えのパラダイムを作り上げることを目標にしています。認知科学の貢献に対する期待も大きなものがあります。進歩していたようにみえて実は脆弱な社会基盤の上に立たされている私達ですが、このようなときこそ科学や学問の基礎と多様性をあらためて重視しなければならないと考えました。そのような方向性を実現するために、他大学の多くの先生方にも実行委員やプログラム委員として加わっていただきました。お忙しい中のご支援には深く感謝しております。お力添えにより、会長講演、フェロー講演、特別講演、2つのシンポジウムと複数のワークショップなど、多彩なプログラムを編成することができました。

初冬の仙台はやはり寒いかもしれませんが、会員の皆様に研究成果ご発表や情報交換のホットな場と、東北らしい温かさを提供できるよう大会運営に努めますので、

どうか多数のご発表と参会をお願いいたします。

2. 大会発表申込

2.1. 発表資格について

論文執筆者のうちの少なくとも一人が日本認知科学会の会員（正会員または学生会員）であるか、2012年6月末までに入会手続きをすませることが必要です。

2.2. 申請カテゴリと形態

例年通り、申し込み時はアブストラクトのみの受け付けとし、プログラム委員会で採否を決定します。

a) 口頭発表・ポスター発表

発表を希望する方は、2000字程度のアブストラクトを提出してください。図や表、文献リストは字数としてカウントしません。発表形態として、「口頭」「ポスター」「どちらでもよい」のいずれかを選んで申請してください。ただし、どちらになるかはプログラム委員会で調整する場合があります。

b) ワークショップ

今大会も例年通りワークショップの提案を募集します。タイトル、狙い、発表者の構成などの企画案を提出してください。形式は自由ですが、わかりやすいものをお送りください。すべてのワークショップ案を受け付けられるとは限りません。採否の決定はプログラム委員会におまかせください。

2.3. 締め切りなど重要な日程

a) 重要な日程

発表申し込み締め切り：2012年6月15日（金）

ワークショップ企画案締め切り：2012年6月22日（金）

査読結果の連絡：2012年8月24日（金）（予定）

発表論文集掲載用原稿提出期限：2012年9月21日（金）（予定）

b) 申し込み

発表申し込み (Web)

<http://www.jcss.gr.jp/meetings/JCSS2012/entry>

ワークショップ企画申し込み (E-mail)

jcss2012-pc@jcss.gr.jp までお送りください

c) 参加申し込み・参加費用

参加の事前申し込みもオンラインで行う予定です (現在準備中)。

大会参加申し込み費用は以下の通りです。早めにお支払いいただくと幸いです。

大会参加費	会 員		非会員	
	一般	学生	一般	学生
早期登録 (10月12日まで)	6,000 円	3,000	9,000	6,000
通常登録 (10月13日以降)	7,000 円	4,000	10,000	7,000
懇親会参加費	5,000 円	2,000	6,000	3,000

振り込みは、下記のゆうちょ銀行口座をお願いします。

口座記号番号：02220-7-134415

口座名称：日本認知科学会第29回大会実行委員会

※他行から上記ゆうちょ銀行口座への振り込みの場合

店名 (店番)：二二九 (ニニキユウ) 店 (229)

預金種目：当座

口座番号：0134415

なお、大学・企業等に属する方が公費で支払い手続きをされる場合、会員名がわからずに困ることがあります。どなたの分の参加費かを特定するのに手間がかかりますので、所属組織経由で振込をされる場合は、次の情報を《大会参加申し込み時に》実行委員会 jcss2012@jcss.gr.jp 宛にご連絡ください。

・いつ

・どの銀行から

・誰の名義で振り込んだか (当該組織の会計担当者・

職名になることがあります)

複数名の参加費をまとめて振り込む場合も同様です。

明細をお知らせください。領収書は、大会当日の配布資料とともに受付でお渡しします。

3. 査読

発表申し込みのアブストラクトに際しては、最低2名の査読者をつけ、内容についてのコメントを付して採否の決定を連絡します。発表全体のバランスを考えて、希望以外のカテゴリ (口頭・ポスター) での発表をお願いすることがあることをご了承ください。

4. 大会発表論文集原稿

発表が採択された場合には仕上がり10ページ以内の発表論文集用完成原稿と、パンフレット用の200字の要旨を書いていただきます。

発表論文集掲載用原稿提出期限までに、大会ホームページに完成原稿をPDFでご送付ください。

PDFが作成できない場合は、上記期日消印有効で下記まで印刷された原稿を郵送してください。(宛名面に、「発表論文集原稿」とお書きください。)

〒305-8566

つくば市東1-1-1 中央第6

産業技術総合研究所

ヒューマンライフテクノロジー研究部門

認知行動システム研究グループ内

JCSS2012 プログラム委員会 永井聖剛

なお、発表論文集は紙媒体ではなく、CDの形でのみ発行します。またページ数の上限を10ページとしていますが、けっしてページ数を増やすことを推奨するものではありません。読者の利益を念頭に、図表等を有効に活用しながら明瞭・簡潔な原稿執筆を心がけてください。

5. 査読者の公募

本大会の投稿原稿の査読をお手伝いいただける会員を広く公募いたします。2012年6月15日(金)までに、ご氏名、査読連絡用メールアドレス、査読可能分野、査読可能本数、査読経験(対象と年数、査読経験のない方は研究略歴)を以下のページからご登録ください。

査読者登録ページ

<http://www.jcss.gr.jp/meetings/JCSS2012/reviewer>

6. 大会発表賞

すぐれた若手発表者に対して大会発表賞(口頭発表・ポスター発表)の授与を予定しています。大会発表賞の受賞資格者は以下の条件を全て備えている方とします。

条件1: 本学会会員(正会員、学生会員)であること。

条件2: 生年が1979年以降であること。

条件3: 所定の大会発表手続きを完了していること。

条件4: 第1発表者であること。

大会発表賞の選考対象になることを希望される方は生年の登録をお願いします。

7. 問い合わせ先

大会関係のお問い合わせは、以下までお願いいたします。

大会運営一般に関して: jcss2012@jcss.gr.jp

大会発表、査読、プログラム一般に関して:

jcss2012-pc@jcss.gr.jp